



ASTAGE *College*

MAKE TOMORROW
A LITTLE BETTER

社会に学ぶ 社会の中で学ぶ 社会の一員として学ぶ

September
2025.9

株式会社BURRTEC

一度きりの人生をどう過ごすのか？

私は“全ての人々が輝く世界”を、ご縁ある皆と共に創っていきたい。

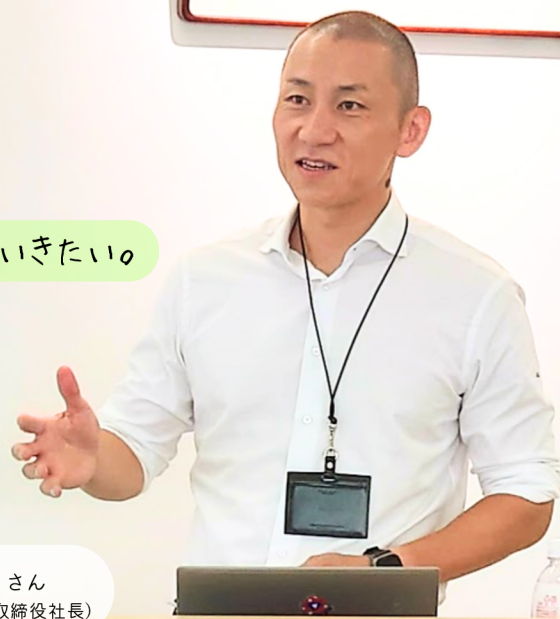
大阪ビジネスパークの高層ビルの33階にある株式会社パーテックさんへ行ってきました。大阪城を階下に見るロケーションで一気にテンションが上がる中、今回のLIVE学習では末松社長、樋口さん、矢野さんの3名から「仕事についての考え方」をそれぞれ伺いました。

樋口さんは、前職のホテル時代の経験を話してくれました。とあるトラブルが原因でクレーム電話が殺到。電話対応窓口で働く樋口さんは1日1,200件を超えるクレームを聞き、心無い言葉のシャワーを受け続けました。『二度と経験したくない…』と今でも消化しきれない程の辛い想いを話す一方で、『どんな状況もあれ以上のことではない！』と、今では自分を勇気づけるエピソードにしているそうです。

矢野さんからは、仕事と子育てのバランスについてお話し頂きました。働きたいと思ったら、子どもをまず保育園に預けないといけない。「よしこれでバリバリと…」と思っても、子どもが熱を出せば、会社を早退してお迎えに…となる。そんな状況でも働き続けたいと思うのは、『子育てに追われ、社会から孤立しては、私らしさが無くなってしまう…』という不安と、『活き活きと自分らしさを表現したい！』という二つの想いからでした。

末松 仁彦 さん

(株式会社パーテック代表取締役社長)



最後に、末松さんから経営者としての考え方を伺いました。末松さんが三代目社長に就任したのは2008年。リーマンショックの真只中、27歳という若さで経営責任を背負ったプレッシャーは大きく、業績を挙げることに必死だったそうです。社員を叱咤激励し業績を高める一方で、社員の入退職が繰り返され、なかなか人材が育ってこないという課題に直面した末松社長は、考え方を改め、社員一人一人に向き合うことを会社経営の柱に据えることを決断されました。

そこから「何の為に会社を経営するのか？」を自問自答する日々を過ごし、社員と共に現在のスタイルを築き上げてこられたそうです。中でも、癌を患いながらも最期まで働き続けた女性社員とのエピソードは、末松さんが志す“働きがいの追求”に大きな影響を与えたとのことでした。彼女が遺した『誰もが自分らしく働ける環境を実現し、仕事をする喜びを世界に伝える』というビジョンは、今でも大切にされているそうです。「仕事に対する考え方」は「今、ここにある一度きりの人生をどう過ごすのか？」というその人の考えに大きく影響されるということを、今一度考えさせてもらう大切な時間となりました。パーテックの皆さん、有難うございました！

仕事とは、
自分に新しい機会と経験を与えてくれる、
人生に欠かせないモノ



樋口さん

仲間と一緒に
小さな努力を積み重ねて
達成感を得られるのが
仕事の楽しみです。



矢野さん

■〒540-6033

大阪府大阪市中央区城見1丁目2-27
クリスタルタワー33階

■TEL: 06-6484-9341

■業種: 工業用特殊ブラシ等の開発・製造・販売

■創業: 昭和18年10月10日

■取組み: 「ブラシで世界を変えよう」というブランドビジョンを掲げ、顧客や社員、その家族など関わりのある全ての人の幸福を追求。2024年『働きがいのある会社』ランキング『従業員25-99人部門』ベストカンパニー4位入選、7年連続ベストカンパニー選出など、企業風土の醸成にも力を入れている。

<https://www.burrtec.co.jp/>

創る学



永井 純 さん
(セントオーディン代表)

夢を言葉にすると
実現に近づく



西区・靫公園のすぐ傍にある洋服店「セントオーディン」(代表 永井純さん)にお邪魔して、みんなで七夕の短冊を書いてきました。
なぜ永井さんの所まで伺ったかというと、実は、永井さんの所の七夕の笹飾りは氏神様に奉納して、お焚き上げて頂くそうなんです。つまり、ちゃんと天まで願いが届けられるわけなんです！
そんな、また一つお思いの方も居られるかも知れませんが、永井さん自身がこの短冊に書いた想いを実現されておられますし、その噂を聞きつけた人たちの中にも、その体験者が沢山おられるそうなんです。こんな話を聞いたもんだからか、参加者もド真剣(笑) 予定時刻を過ぎても中々書き終わらず、かなり長い時間をお店で過ごさせて頂きました。
永井さんがどんな願いを実現させたかですって？それはデザイナーですから、はい。パリコレですよ、パリコレ！

七夕・短冊



<https://www.st-odim.com>

- St.ODIM (セントオーディン)
- 大阪市西区京町堀1丁目13-2 藤原ビル 2F
- 営業時間：月・水～日曜日12:00～20:00
- 定休日：火曜日
- 連絡先：06-6459-2377
- E-mail：info@st-odim.com



家庭から出たガラス瓶たちのその後を知っていますか？そんな話題から始まった「廃材アート」ですが、その素材を手にとって見ると、とても廃材とは思えない程のキレイさで、みんな夢中になって思い思いのアート作品を完成させていきました。
この日の午後からは、改めてリサイクルやリユースといった社会的なテーマについて考えました。「使う責任・捨てる責任が大切。」といった新たな気づきを得ることができる、素晴らしい時間となりました。

「ただのゴミ」から
価値あるものへ



荒木 正江 さん
(荒木産業株式会社 代表)

廃材アート



- 荒木産業株式会社
- 〒574-0052 大阪府大東市新田北町2番28号
- 業種：舗装材・建築資材の製造・販売・施工
- 連絡先：072-872-2385(代表)

<https://www.arai.co.jp>



暑中見舞いや年賀状…誰かに手紙をしたためるなんてことも、どこか昔の話になってしまった今日この頃ですが、意外や意外、作り始めると、どんなのめりこむ世界でした。
思い通りに描ける所もそうでない所も、事前に制作しておいたオリジナル判子を隅っこにポンツと押せば、全てが味わい深く見えてくるからオモシロイ！
みなさんも是非、筆を手にとって、筆に任せて描いてみてはいかがでしょう！

絵手紙

よのなか学

よのなか
インタビュー

お寺のお坊さんに出会うのは法事や葬式など人生のエンディングにまつわるシーンがほとんどとなっている昨今ですが、お坊さんとお話する機会はほとんどない。という方も少なくないんじゃないでしょうか？

ところがこの高藤さんはちよつとレアキヤラでして、お坊さんの傍ら20年以上ラジオパーソナリティーとして活動していたり、夫婦カウンセラーやセカンドキヤリアアドバイザーなど、いくつもの顔をお持ちでした。

お話の中で「お寺と言えば『地域のよろず相談の場所』だった時代への原点回帰をめざす。」との説明があり、より身近な存在としてのお寺の再興が目標とのこと。参加者たちも、話しやすい雰囲気の中で、率直な質問に一つ一つ丁寧に答えてくれる高藤さんでした！

未来ダイアログ

死ぬ理由より
“生きる理由”
を考えた方が良く

荒木 正江 さん

(荒木産業株式会社 代表取締役)

創る学（P3参照）でも登場いただいた荒木さんをゲストにお呼びしました。

現在は企業の代表として活躍され、ている荒木さんですが、学生時代や会社勤め時代のイメージ、家業継承の危機と事業継承（借金肩代わり）、脳出血、脳梗塞とその後遺症：といったかなりハードなエピソードを聞きながら、その時々で荒木さんを支えてくれた人や言葉、ものの考え方を紹介頂きました。

誰にでも起こり得る人生の危機を転機に変えてこられた実体験は、荒木さんの気さくなキャラクターも相俟って、何よりも説得力のあるお話として、参加者の胸に届いていました。

お寺が
地域の拠り所になる様に、
ラジオでも発信
しています。

高藤 俊行 さん

(宗教法人真樂寺 第3代住職)

- 浄土真宗本願寺派 真樂寺
- 〒570-0011 大阪府守口市金田町1丁目36-7
- 連絡先：06-6902-9671


<https://www.>

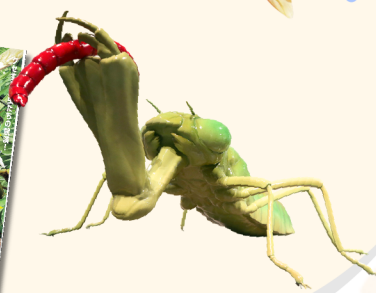

※ 企業情報・QRコードはP3中段「荒木産業株式会社」を参照してください。

よのなか探訪
“昆虫MANIAC”

大阪市立自然史博物館での期間限定イベント『昆虫MANIAC』に行ってきました！

地球上には100万種を超える昆虫がいるらしく、僕らが日常の暮らしの中で見かける昆虫たちは、ほんの一部なんだそうです。

その殆どが体長1cmに満たない小さなムシたちの世界ですが、展示物は美物大やそれ以上の大きなディスプレイもあって、「カッコいい！」とか「あかん、気持ち〇い！」とか、色々と自由な意見が飛び交っていました（笑）



生活学

現在のカレンダーは太陽の周期（太陽暦）で計算されていますが、明治時代までは月の周期（太陰暦）で計算されていたそうです。今では不思議かもしれませんが、月の満ち欠けは、潮の満ち引きや私たち動物の生体リズムとも一致する、より自然な暦だったんでしょうね。

なかたにさんが紹介してくれたのは、その1年を24の季節に分ける「二十四節季」という考え方。古代中国で生まれたこの暦は、めぐる季節の変化に寄り添い、田植えや稲刈りの頃合いを告げる農事暦でもありました。あつという間に過ぎる日々を、ゆつくりと愛でる様な、なかたにさんのお話でした。

暮らしの中に
“暦”を入れて楽しむ

ワークシヨップ
暦



←毎日更新の
コラム「今日の
こよみ」
（暦研究室）

<https://www.koyomi.jp/>

■暦のコラムと臨床美術 二十四節季の森
■〒563-0256 大阪府箕面市森町北2-4-1
■連絡先：090-5884-0659



なかたに 美樹 さん
（二十四節季の森 代表/臨床美術士）



毎年恒例となった、夏祭りレクリエーション。今年もたこせんや焼き鳥、かき氷などの屋台グルメと色々な出し物で大盛り上がり！
参加者も浴衣やコスプレなど、思い思いの衣装で一日限りのお祭りを楽しみました！

夏祭り
レクリエーション



レンジを使った簡単メニューばかり...といっても、誰かと協働して...となると、色々な要素が複雑に交差します。そんな時に大切な事は、声に出して自分の意志を伝えることです。



チャレンジ
クッキング



《7月の献立》
・トースターで簡単！夏野菜とオイルサーディンのチーズ焼き
・簡単！混ぜるだけ！サラダチキンのお洒落サラダ
・10分レンジで簡単！がトーションコロ

《8月の献立》
・レンジで5分！アヲや分豆乳そうめん
・10分で完成！かぼちゃのバター蒸し
・ヘルシーメニュー！夏野菜の揚げない揚げがたし

仕事学



富岡さんのキャリアの始まりはプログラマー。そこからイラストレーターや喫茶店経営と色々な職種を経験し、現在は整体サロンの経営されています。仕事選びのポイント、時代のトレンドや結婚・離婚・病気といったライフイベントに大きく影響されているとのことでした。

中でも、現在も続く抗がん剤治療は副作用も強く、仕事や暮らしにも強い影響と制限を受けるそうです。そんな厳しい状況だからこそ、生きることで、働くこと自体の意味や喜びを感じながら働いているという富岡さん。

状況に応じた柔軟な思考や働く意味や喜びを感じる心など、沢山の学びを得た一日でした。



<https://www.>

- セラピー整体サロンえみ
- 兵庫県宝塚市清荒神2
- 営業時間：10:00～18:00
- 定休日：日・祝

富岡 恵美さん
(セラピー整体サロンえみ 代表)

私の仕事の選び方

仕事は一つでなくても良いし、選んで直してもいい！



古典に学ぶ

昔々ある所に…で始まる古典話。退屈で聞き古したものと捉えがちですが、よくよく読み込めば現代でも十分通じるエッセンスが沢山あります。また現代風に読み解けば、善悪のキャラ設定も昔と今では随分違って見えてくるから不思議です。

例えば「ウサギとカメ」なら、昔はコツコツ真面目にひた向きに努力するカメが善でした。けれども、変化のスピードがとんでもなく速い現代社会では、ウサギの如くサツサと進み、状況をみてひと眠りするくらい大胆に作戦を変えらるキャラの方が現代向きですね。

この「古典に学ぶ」というプログラムは、一般参加される方々にも大人気の（かなり苦戦する）プログラムです。皆様のご参加（挑戦）をメンバー一同、お待ちしております（笑）

からだ学



7月、8月のからだ学は「冷え性」やその根本となる「自律神経」について考える時間となりました。女性に多い症状ですが、参加した男性メンバーにも同じ症状を訴える方も居られて、性別を問わないテーマだと改めて感じます。

「ツボ押し講座」では、自律神経系の働きを整えるツボを中心に学びました。アルアル話ですが、ツボを押して「痛い！痛い！」と言ってみたい欲求に駆られるのは私だけでしょうか？

ビジター参加してくれた松井さんは私とは真逆で「全く痛くない！」と鉄人みたいな顔してました（笑）

毎日の小さな習慣が、
バランスを整える
第一歩となる

冷え性について

松下 健太郎さん
(藤本鍼灸治療院 院長)



<https://www.>

- 藤本鍼灸治療院
- 大阪府吹田市内本町1-14-7
- 連絡先：090-5064-9247

自分探求学

人生グラフ



何となく始めたというラグビーとの出会いが、後に神〇製鋼での仕事や超一流のラグビー選手たちとの出会いに繋がりが、仕事もプライベートも大忙し。正に順風満帆の時代に、新しいプロジェクトを任された西川さん。さあ、これから！のタイミングで起ったのが阪神大震災。仕事を飲食業界に変え、大成功した焼き肉店の命運をかけた2号店オープンの前日、ニュースで流れたのは狂牛病…。ジェットコースターのような人生グラフを明るく淡々と話してくれました。

いくつもの困難を乗り越えた西川さんを支えたのは、「自分一人で乗り越えた訳じゃなくて、その時々の人との出会いとつながりに助けてもらいました。」と感謝を述べる西川さんですが、西川さんの根っからの明るさと朗らかな人間性があつたからこそのお話なんだと思います。

助けてくれるのは人。
誰かを頼る大切さ。

西川 正樹 さん
(蜜芋工房 代表)

■蜜芋工房（移動式店舗）
■090-3050-5778

人生グラフ

選択で変わる、
やり直せる、
誰かが助けてくれる

益満 愛 さん
(株式会社ボムスタイル)

「人生はゲーム」というパンチの効いたフレーズから始まったお話は、益満さんが、その壮絶なキャリアの中で見つけた、生きる術でした。同僚の自死、上司からのパワハラ、実家の火災、燃え尽きる一歩手前まで働き続けた日々…。『当たり前のようにまた同じ明日が来て、どうにも辛い日々が続く…』のではなくて『明日が来る保証は誰にもなくて、今日、この選択がこの先の未来につながる』という気づきを、益満さんはゲームに例えて説明してくれました。ゲームをクリアしていく時には、色んなアイテムを探して、仲間とチカラを合わせて、時には勇気を出して戦って、時にはその場から逃げ出して…。色んな選択を重ねながら、誰かを助けて、誰かに助けられてゲームは進んでいく。ゲーム世代の僕らにはグッと心に響くお話でした。



<https://www.lovebom.com/>

■リンパ専門サロン・ド・ボム
■大阪市都島区東野田町2-9-13 松和京橋第1ビル2F
■TEL: 06-6881-2016

人間探求REPORT

毎週金曜日は「自分探求学」の日。この時間のメインテーマは「自分のことを知ることで、す。けれども、自分が一番自分のことをわからない」というのが定説ですから、とても難解なテーマに挑む一日となってきます(笑)

今回ご紹介するのは「人間探求REPORT」というワーク。ここで取り扱うテーマは『愛情表現』『ネガティブ思考』『嫉妬』といった多くの人に共通する思考や感情などです。普段、あたりの様にやり過こして、改めて考えたことも少ないテーマですから、伝えたいイメージは有れども「何て言うんかなあ」ともどかしさ満点。

それぞれが自分ならではの考えを持って、他者の意見との違いや重なりを見つけていく。答えの無い議論は、メンバーたちの社会生活力を高めてくれています。



ビジター参加の皆様 VISITOR

ASTAGEカレッジでは『共に学び合い、共に教え合う』ことを目的に、積極的にビジター参加を受け入れています。
様々な経験や異なる立場を持った方々が出会い、共に歩むASTAGEカレッジに来てみませんか？
皆様のご参加をお待ちしております。



アスカレMAGAZINE編集部

ASTAGE college

ASTAGEカレッジでは、以下の視点や考え方、学びを大切にしています
自立訓練=自立+自律(自分の意志で選択・決定していく力)の育成
生活訓練=社会生活力(社会の中で生き抜く力)の育成



モジモジがハテナに、
ハテナがピカーンになる学校。

ASTAGEカレッジでは、一緒に学ぶメンバーを募集しています！

見学や体験は随時受け付けていますので、
お気軽にお問い合わせください！

お申込み・お問合せフォームが開きます⇒



編集・発行元



社会に学ぶ 社会の中で学ぶ 社会の一員として学ぶ

ASTAGE college

自立訓練（生活訓練）事業所 アステージカレッジ

☎ 536-0008

大阪市城東区関目5-3-9-2F

☎ 06-4400-1882 ☎ 06-7633-8863

✉ info@omitas.net

ASTAGEカレッジは、こんなお悩みをお持ちの方をサポートする専門機関です。

- 病や障がいについて相談したい方
- 会社を休職中の方
- 就職サポートを受けたい方
- 不登校・引きこもり
- 家族や関係者からのご相談
- 居場所・仲間づくりをしたい方



■ 京阪「関目」
■ 地下鉄
「関目高殿」
「関目成育」
から徒歩3分
見学・体験
随時受付中

(株) ダイソーさんで 「社内木鶏会」に参加してきました！

ダイソー CHEMICAL
LABO
SUPPLY

株式会社ダイソー様は、西淀川区にある理化学機器の総合商社。企業や大学等に試薬や実験道具などの専門資材等を販売しておられます。



<https://www.daiso.co.jp/>

↓ 牧社長と同じグループになって、緊張した様子のメンバーでしたが、自分なりに工夫しながら説明している姿が印象的でした！



↑ 初めての試みでたくさん緊張もしましたが、学ばせていただいた時間は、とても貴重な経験となりました！



↑ 社員として、家族として、仲間として…色々な立場で色々な意見がドンドン生まれていく雰囲気が良いですね！



↑ 事前に資料を読み込んできたメンバーからは、自分なりの感想コメントが沢山生まれました！



↑ ASTAGEメンバーを温かく迎えて、一緒になって盛り上げてくれたダイソーの皆さん。この温かさや人間性がダイソーの魅力だと知りました！



致知出版社©

「社内木鶏会」とは、月刊誌『致知』をテキストに、会社内で人間学を学ぶ月例の社内勉強会です。

■ 自己紹介を終えると、4つのグループに分かれての感想シェアタイム。どうなるかな…と心配したのも束の間、牧社長を筆頭にダイソーの皆さんの笑い声が聞こえ始め、次第にASTAGEメンバーの声量も大きくなっていきましただと感じました。皆さん有難うございました！

■ これ余談なのですが、今回の様な対話形式の学習を皆さんやりつくしているASTAGEメンバーが、最初の緊張を乗り越えて、次々に発言している姿に頼もしさを感じました。日頃の努力の賜物か、やはり『練習は嘘をつかない』ということが再確認できた一日でした。

■ 一度、見学にお邪魔したとはいえ、社員の皆さんとは殆ど初対面というロケーションの中、4名のメンバーが参加してくれました。各々、事前に冊子を読み込んで準備万端で臨んだのですが、ヒシヒシとその緊張感が伝わってきました。

■ 株式会社ダイソー（代表取締役社長 牧勝之氏・西淀川区）で定期開催されている『社内木鶏会』に参加してきました。この取組みは、一つのテキストをベースに社員が各々の意見や感想を述べあう中で、様々な気づきや学びを得るもので、全国的に沢山の企業で取り入れられているものです。今回のご縁は、企業LIVE学習で訪問させて頂いた折に、牧社長からお誘い頂いたことが切掛けとなり実現することが出来ました。

緊張の中で見つけた
自分の成長

